

# イチゴの花芽分化安定！培地気化冷却法の簡易施工法 ～ハウス加温機利用で簡単設置～

(農林水産省委託プロジェクト研究「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発」成果)

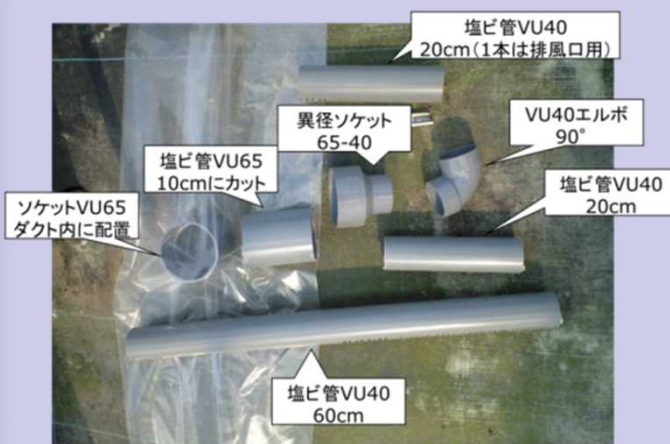
## 【背景・目的・成果】

近年の温暖化によって、短日・低温で花芽をつけるイチゴの開花の遅れ・ばらつきが増えています。その回避には、気化潜熱を利用した高設栽培装置の培地冷却が効果的です。ハウス内に加温機があれば、その送風機能を利用して、低コストで簡単に設置可能です。

## 施工の手順

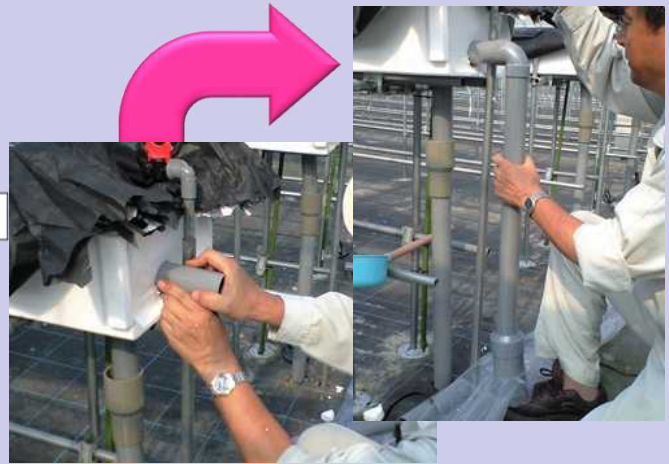
### ■材料の準備

→ パイプ類を用意し、図のように切断



### ■手ではめ込んで接続(接着剤不要)

→ 冬季には取り外して収納できる



### ■加温機の機能を利用して送風

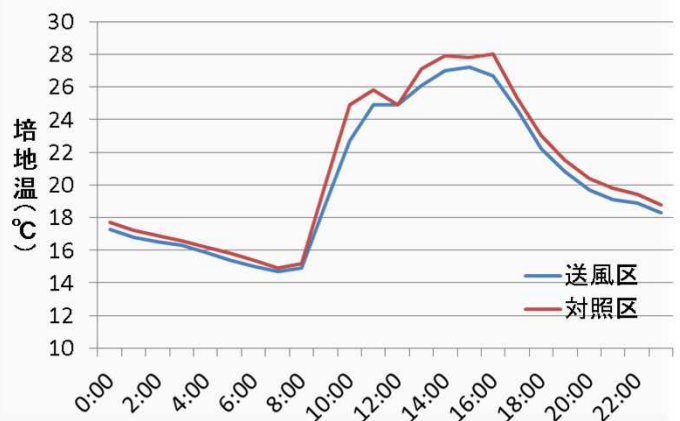
→ 排風口付近で風速3.6m/s



## 効果

### ■送風(晴天、8～17時)による培地温度低下

→ 培地温が最大2.2℃低下



詳細な内容については、パンフレット「兵庫県におけるイチゴ高設栽培の気化潜熱利用培地冷却利用技術」をお配りしています。

## 【技術の活用】

冷却過剰の場合、花芽が分化してもその成長が抑制され逆に開花が遅れるため、ハウス内平均気温20℃を目安に送風を停止します。